

[号外] 郵送料金大幅値上げへ 「楽楽明細」で郵送費を削減!

ご存じですか? 早ければ2024年秋ごろに郵送料金の値上げが見込まれています!

定型封書の上限郵送料金を最大31%引き上げる 案が公表されました

今回総務省に諮問された改正案では、郵便法施行規則で定める第一種郵便物のうち、定形郵便物の上限料金の額を「110円」に変更する旨が記されています※1。主に請求書に関わる定型封書については、最大31%の値上げとなり、大幅な費用増加が懸念されます。

想定される値上げ金額		
定型封書 (25g以下)	84円 → 110円	31% UP
定型封書 (50g以下)	94円 → 110 円	17% UP

値上げされた場合… 現在 120.0万円 45万円 郵送費 その他 24.6万

改定案 135.6万円
 大件員 45万円
 郵送員 50.4万円
 24.6万円

 人件費 45万円
 郵送費 66万円
 その他 24.6万円

 その他・・・封筒代/紙代/印刷代
 毎月500件の帳票を送付する場合 年間**156.000円**の

コスト増に!



楽楽明細 で解決!



「楽楽明細」なら…

改定案 135.6万円

「楽楽明細」

50.4万円

人件費
45万円郵送費
66万円その他
24.6万円人件費 1.8万円その他…封筒代/紙代/印刷代システム利用料
48.6万円※削減できるコスト

毎月500件の帳票を送付する場合

年間852,000円

お得※2に!

※1:郵便法施行規則の一部を改正する省令案及び民間事業者による信書の送達に関する法律施行規則の一部を改正する省令案に対する意見募集 https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu14_02000135.html

「楽楽明細」で請求書発行をラクにしませんか?



請求書発行の手間がゼロに

● 紙での印刷・押印・三つ折り・封入・郵送作業が不要になり、 手間がゼロになります。



手作業によるミスがゼロに

● システム上で請求書をデータで自動発行できるため、 手作業によるミスがなくなります。



請求書を取引先に自動で届けることが可能

- 規定フォーマットに沿った請求書データの作成ができるだけでなく、 システム上で取引先に請求書をお届けするところまで対応。
- 取引先の要望に応じてWEB・メール・郵送・FAXのいずれかの方法で自動でお届けします。



システムが苦手な方でもカンタンに導入・運用できる

- 経験豊富なスタッフが導入をサポートします。
- 発行側、受取側双方にとってわかりやすく直観的な操作画面になっており、 取引先からも受け入れられやすい使いやすさです。

作業時間が

96%削減※

インボイス制度 電子帳簿保存法にも

対応可能

※ 月の発行件数500件の場合の月間の導入効果(ラクス調べ)

導入しやすい価格設定

初期費用

月額費用

100,000円(税抜)+ 25,000円(税抜)~

※ 1か月間のWEB帳票発行件数に応じた従量課金制となります。 お申込プランの発行可能件数を超えた場合は超過件数に応じて料金が発生いたします。



※デロイトトーマツ ミック経済研究所「クラウド帳票発行サービスの市場の実態と展望」(ミックITリポート2023年9月号)における「売上シェア」、「導入社数シェア」第1位



お問合せはこちら